

### Ⅲ キャリア教育の目標とは

キャリア教育は、キャリア発達を促すことを目指す教育活動であるため、キャリア教育の定義自体が「キャリア教育の目標」となります。

中学校におけるキャリア教育の目標の考え方について確認してみましょう。

#### (1) 中学校3年間を見通した目標を設定すること

- キャリア教育は、全教育活動の中で3年間を通して計画的に推進していくものです。
- 社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等についてしっかりと考えさせることが大切です。
- 目標を立てて計画的に取り組む態度の育成等について、体験を通じて理解を深めさせ、進路の選択・決定へ導くことが重要です。

#### (2) キャリア発達課題を踏まえた目標を設定すること

- キャリア教育の目標を設定する際に、「小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達段階及びキャリア発達課題（例）」を参考にし、系統性を踏まえることが大切です。

#### ■ 小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達段階及びキャリア発達課題（例）

	小学校	中学校	高等学校	大学・専門学校・社会人
就学前	進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己及び他者への積極的関心の形成・発展</li> <li>身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上</li> <li>夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得</li> <li>勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成</li> </ul>	現実的探索と暫定的選択の時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的自己理解と自己有用感の獲得</li> <li>興味・関心等に基づく勤労感・職業観の形成</li> <li>進路計画の立案と暫定的選択</li> <li>生き方や進路に関する現実的探索</li> </ul>	現実的探索・試行と社会的移行準備の時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解の深化と自己受容</li> <li>選択基準としての勤労感・職業観の確立</li> <li>将来設計の立案と社会的移行の準備</li> <li>進路の現実吟味と試行的参加</li> </ul>	

中学校におけるキャリア発達段階は「現実的探索と暫定的選択の時期」であり、4つのキャリア発達課題が示されています。この例示を参考に、各学校の生徒や地域の実態に応じて目標を設定することが大切です。

なお、中学校における学年ごとのキャリア発達課題（例）は、次のとおりです。

#### ■ 中学校におけるキャリア発達課題（例）

第1学年	第2学年	第3学年
① 自分の良さや個性が分かる。 ② 自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。 ③ 集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。 ④ 将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。	① 自分の言動が他者に及ぼす影響について理解する。 ② 社会の一員としての自覚が芽生えとともに、社会や大人を客観的に捉える。 ③ 将来への夢を達成するための現実の問題に直面し、模索する。	① 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。 ② 社会の一員としての参加には義務と責任が伴うことを理解する。 ③ 将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服するための努力に向かう。